

男女共同参画社会の推進を！

毛呂山町では、男女共同参画推進委員と共に
男女共同参画社会を推進していきます。

男女共同参画社会とは

男性、女性がそれぞれの違いを認め、一人の人間として尊重されつつ、地域や職場など、あらゆる社会のなかで対等な立場として、自らの意思により、社会のあらゆる分野における活動に参画し、自分らしく暮らせる社会のことです。さらに、男女が均等に経済的、社会的および文化的利益を受けることができ、男女ともに責任を担う社会です。

家庭での男女共同参画

男女が共に育児や介護などの家事について、家族の役割をはたし、家族が協力しあって生活を営むことが大切です。互いに協力しあうことによって夫婦双方の家庭生活と職業生活との両立につながります。

例えば：女性だけでなく、男性も育児、介護などに積極的にかかわり、家族みんなで家事を分担し、支えあうことです。

地域での男女共同参画

一人ひとりが自分の意思により、自分の住む地域や社会の活動に積極的に参加するには、固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく相手の立場を尊重し、性別や世代別といった壁を取り払い、きめ細かなコミュニケーションを維持していくことが大切です。

例えば：自分の意思により、自分の住む地域の活動に積極的に参加し、発言する機会を持つことなどです。

職場での男女共同参画

働きたいという希望を持つ人が、性別によって職種や職域をあらかじめ限定されることなく、一人ひとりの能力や個性に従って働くことができる職場環境づくりが大切です。そのためには、性別による役割分担意識に基づく慣行の見直しや、育児介護休業後に職場に復帰しやすいなど、仕事と家庭が両立できるような職場環境の整備が大切です。

例えば：働きたいという希望をもつ人が、個人の持つ能力を発揮し、経済的に自立し、仕事と個人の家庭生活を両立していくことなどです。

学校での男女共同参画

「男の子だから」「女の子だから」といった枠にとらわれず、一人ひとりの可能性を伸ばすよう教育することが望ましいと考えられます。

例えば：本人の興味や個人の持つ能力を尊重した学校生活を行えるように様々な人が、理解し、子どもたちの成長を助けてあげることなどが必要です。

問 役場総務課自治振興係 内
線311

男女共同参画関連用語解説

ワーク・ライフ・バランス

「仕事と生活の調和」のこと。仕事をしながら私生活も充実できるような職場環境を整え、仕事や家庭生活、さらには地域生活など、様々な活動について自らが希望するバランスで展開できる状態であること。